

平成29年10月12日  
青森森林管理署

## 「平成29年度 一貫作業システム現地検討会」を開催しました

青森森林管理署は平成29年10月11日（水）に青森市久栗坂国有林において「一貫作業システム」の現地検討会を開催しました。今回は昨年につき2回目の開催となりました。

これまでの森林整備事業では、伐採、植栽が個別の契約になっていて、枝等の除去、植栽作業が翌年度となり経費がかさみました。これを伐採から植栽まで一括契約することにより、伐採と造林作業を同時に行ないコストを削減することに取り組んでいます。

これを「一貫作業システム」といい、具体的にはグラップル等で立木の伐採や丸太の搬出に使用する林業機械を用いて、伐採区域内に残っている枝等の除去、集積、そして苗木の運搬等を行い、伐採から植栽におけるコスト削減を図るものです。



【検討会の様子】

次に事業者による伐倒、搬出、運搬、植栽までの実演が行われました。

当日は、雨の中、当署職員と東青地区の請負事業者等30名が参加しました。署担当者から「一貫作業システム」について説明を行いました



【現地の概要説明】



【プロセッサで丸太に切断】



【グラップルによる積み込み】



【ディブルで植穴を開けてコンテナの苗植栽】



【局講師による説明】

参加者は、講師である東北森林管理局 森林整備課から笹の刈払いが必要な場合の説明を受けました。

今後とも青森森林管理署では、民有林の森林所有者にも、この作業システムをはじめ低コスト化へのPRに努めて参ります。